

野生鳥獣保護管理技術者育成研修(カワウ)講義資料

この講義資料は、下記の研修のために使用されたものです。

そのため、情報が古い場合があります。

また、Web での掲載のために一部修正や削除、構成の変更をしているものがあります。

2008 年度 野生鳥獣保護管理技術者育成研修会(カワウ)

対 象: 都道府県の鳥獣行政担当者、水産行政担当者、内水面漁業関係者、その他
カワウの保護管理、調査、被害防除に関わる者

開 催 日: 2009 年 2 月 16 日(月)～2 月 18 日(水) 2 泊 3 日

場 所: カリアック(静岡県浜松市)

講師と科目: 加藤ななえ(カワウの生態)

: 徳田裕之(特定鳥獣保護管理計画とカワウの広域保護管理)

: 鉢嶺朗(カワウ対策に充てられる補助金と鳥獣害防止特措法について)

: 秋山雄司・谷高弘記(天然アユを増やす為の取り組みとカワウ食害対策事業)

: 島軒治夫(山形県内水面漁連のカワウ対策の取り組み)

: 北川捷康(静岡県におけるカワウの生息状況の変遷)

: 高木憲太郎(地域実施計画とは?)

: 岡部晋治(静岡県カワウ保護管理の体制と実施計画)

: 藍憲一郎(夷隅川・養老川水系におけるカワウの食性調査および被害量の算定)

: 坪井潤一(カワウ漁業被害防止の取り組み ～餌場での捕獲と飛来防止対策～)

野 外 実 習: 天竜川(静岡県) カワウの追い払い体験とアユの遡上調査の視察

: 浜名湖(静岡県) 湖畔のねぐらでのねぐら入り見学

現地説明者: 天竜川漁業協同組合

: 北川捷康

: NPO 法人バードリサーチ

(10) カワウ漁業被害防止の取り組み ～餌場での捕獲と飛来防止対策

山梨県水産技術センター

坪井潤一

目的

人間とカワウとの軋轢を軽減するために行う対策は、被害の現状、地理的条件、効果的な手法などが地域や立場によって千差万別であるため、普遍的なものはない。そのため、本発表では山梨県で実施されているカワウ対策の事例紹介を行うが、参加者の方々のフィールドをイメージしながら聴いていただきたい。また、本発表は（不本意にも）カワウ担当を任された水産試験場職員の奮闘記でもあり、これからカワウと向き合う方々の参考になれば幸いである。

以下に、今回紹介する山梨県での対策を4つのカテゴリーに分けて紹介する。

モニタリング調査

毎月20日に県内10箇所で、漁協組合員による飛来数カウント調査を実施している。山梨県水産技術センターでは富士川水系にある県内最大のねぐらで個体数カウントを行っている。また、当センターでは、最新の飛来数や個体数に関する情報から、そのとき必要とされる対策を漁協へ提案している。

捕獲

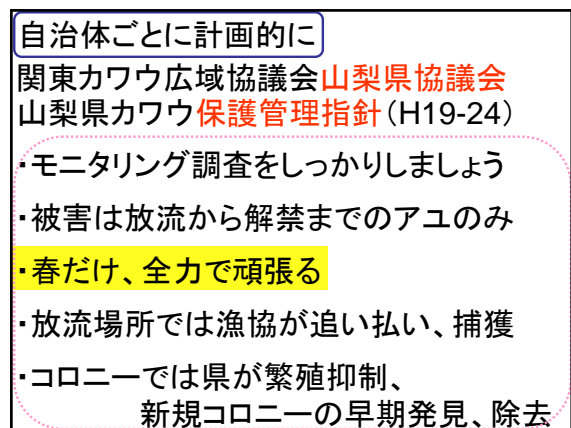
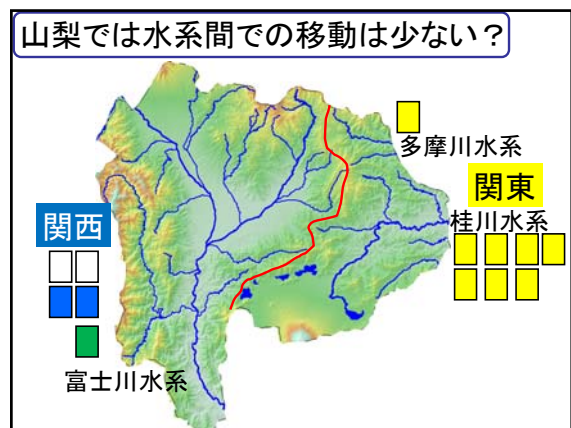
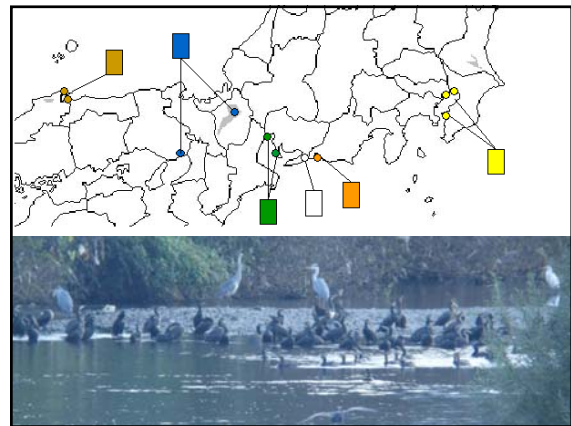
銃器による捕獲の他、2004年からは釣り針による捕獲も行われている。釣り針による捕獲は、被害主体である漁協組合員自身が守りたい漁場（釣り場）で実施可能な手法である。しかし、銃器よりも捕獲効率が低いため、いつも飛来する「常連の個体」を仕留める一発必中の捕獲方法として、山梨県では定着している。

飛来（被害）防止対策

カワウは案山子（かかし）などの飛来防止グッズをすぐに学習してしまうため、手を替え品を替え、対策を実施する必要がある。発表では山梨県で生まれた創意工夫の結晶をご覧いただきたい。

コロニー拡散防止

本発表で最も紹介したい対策である。繁殖コロニーやねぐらの箇所数を最小限に抑えることは、全個体の餌場までの飛行距離の総和を最大にし捕食効率を低下させるため、食害軽減につながる。発表では、新規コロニーの除去方法である「ビニルひも張り」のやり方について説明したい。



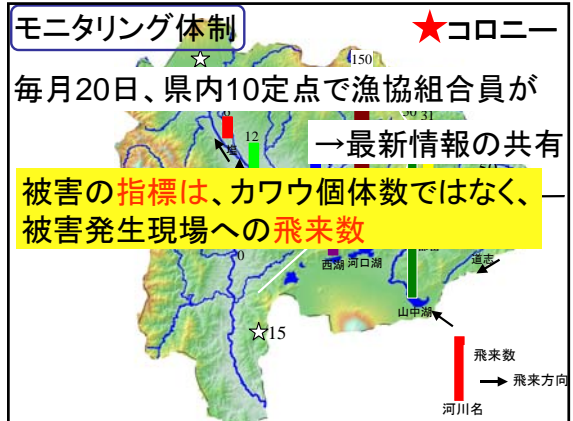
山梨での

1. モニタリング調査
2. 捕獲
3. 飛来(被害)防止対策
4. コロニー拡散防止

これからお話しする山梨での対策のうち、
1つでも**皆さんの地域に応用できる対策**
があれば、嬉しいです。

山梨での

1. モニタリング調査
2. 捕獲
3. 飛来(被害)防止対策
4. コロニー拡散防止



油断できま

対策の成果？

魚類資源量の減少？

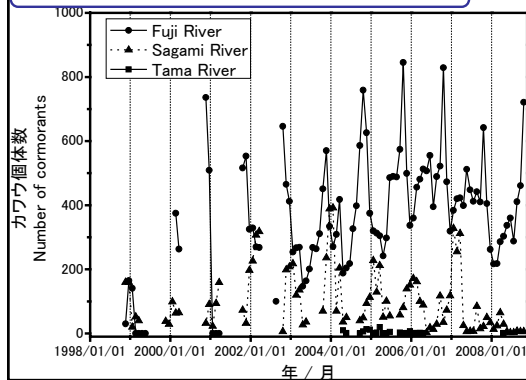
長期的な個体数変動？

モニタリングが重要

カワウ個体数激減

県内駆除、増殖抑制が効果

水系ごとのカワウ個体数経年変化



山梨での

1. モニタリング調査
2. 捕獲
3. 飛来(被害)防止対策
4. コロニー拡散防止

駆除の状況

神奈川県
越県飛来をブロック!
年間100羽程度駆除

静岡県

狩猟鳥に指定 → 漁協が¥5000 / 羽で買い取り

撃ったカワウ(貴重なサンプル)の回収法



釣り針捕獲

鯉針15号 通し刺し クッションリーダー 鉄杭
道糸5号, 1.5m
ニジマスまたはアユ

回転の発想で!

京都新聞2008年4月4日付

鯉針15号 + 通し刺し + クッションリーダー



山梨での釣り針によるカワウ捕獲実績

年度	坪井	漁協	合計	捕獲許可
2004	H16	4	3	7 調査
2005	H17	0	21	21 調査
2006	H18	0	17	17 調査
2007	H19	0	4	4 有害
2008	H20	1	0	1 有害
計		5	45	50

大量捕獲はできないが、常連(居付き)の個体を捕獲する目的で

養殖池でも 山梨県水産技術センター内

設置後2時間で捕獲



アユ池

つばい

山梨県より許可を取得

絶対に許可を取りましょう！

都府県にお問い合わせを！

有害鳥獣捕獲	銃器	ハンター
調査捕獲	山梨では 釣り針	時期、場所
狩猟	銃器	ハンター

山梨県内で駆除された全ての個体を解剖



H19 胃内容物から推定した山梨県での被害額


$471羽 \times 500g \times 34.89\% \times 1.5ヶ月 = 3.7t$

4.5月のアユ食害率 (放流~解禁)

漁協ごとの飛来数に置き換えることも可能

放流アユは3500円/kg → 1294万円

アユ放流量24.3tの15.2%



- 山梨での
1. モニタリング調査
 2. 捕獲
 3. 飛来(被害)防止対策
 4. コロニー拡散防止

- 飛来防止対策は手を変え品を変え
- ・竹を川岸に浮かべてアユの隠れ場づくり
 - ・ロケット花火の自動発射装置
 - ・飛来防止グッズ(タカ尹2号)
 - ・キラキラベットモトル
 - ・テグス張り(網目状に張る)
 - ・防鳥テープ張り
 - ・手作りカカシ(たまに着せ替え)
- どれも10日くらいは効果が持続
- 対策を組み合わせて

竹を川岸に浮かべてアユの隠れ場づくり



栃木県がパイオニア



ロケット花火の自動発射装置



手持ちロケット花火発射装置



茶筒に爆竹



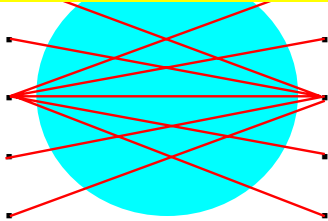
タカ君2号



テグス張り(まくり)

網目状にすると効果あり
(滋賀県南浜漁協)

アユがたまる大きな淵で有効!



テグス張りは芯棒があると便利



山梨での

1. モニタリング調査
2. 捕獲
3. 飛来(被害)防止対策
4. コロニー拡散防止

新規コロニーは除去

早期発見が重要

コロニーが増えると通勤が楽になる

新規コロニーでは、繁殖成功が高い

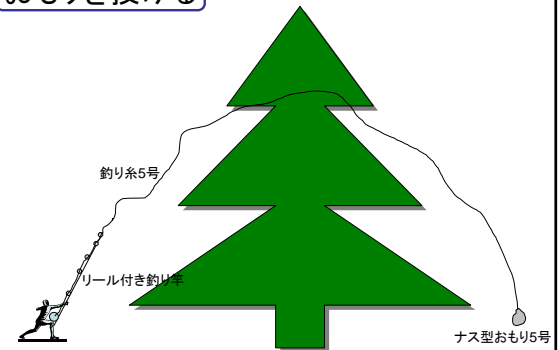
→ 一箇所に封じ込める作戦

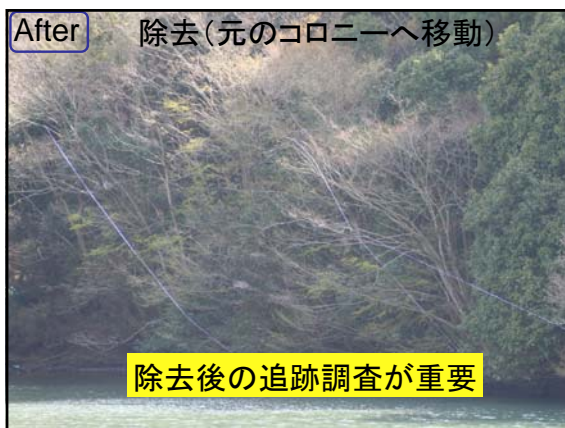
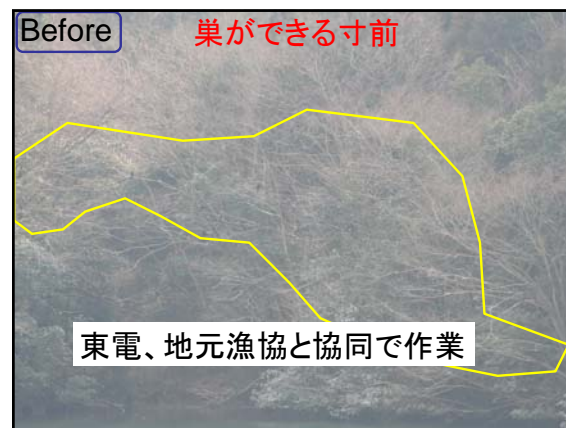
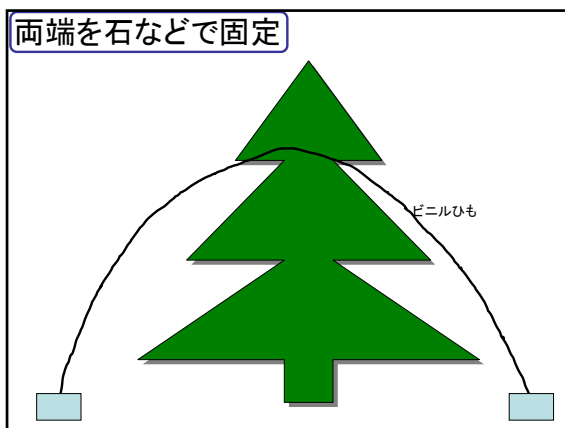
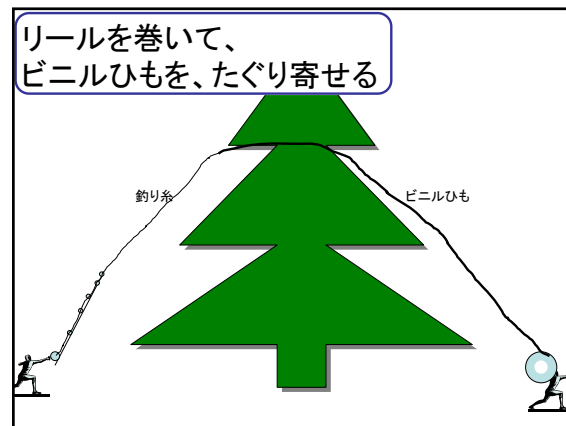
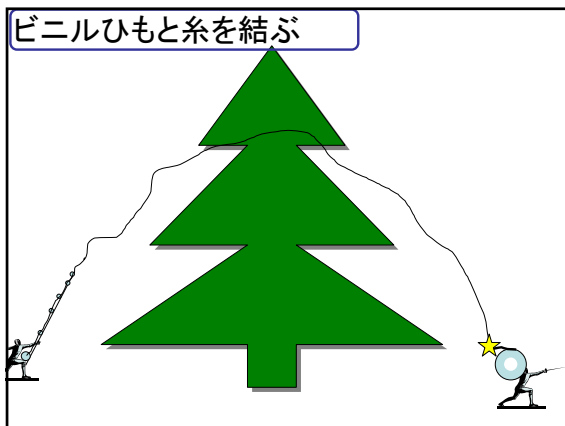


ビニルひも張り



おもりを投げる





山梨での

1. モニタリング調査
2. 捕獲
3. 飛来(被害)防止対策
4. コロニー拡散防止

まとめ

持続可能な体制と対策を！！

モニタリング調査: 広域的、定期的、**画一的**

捕獲: ルール厳守で**計画的に**

飛来防止対策: 場所と時期を限定、
手を替え品を替え

コロニー拡散防止: **早期発見、早期除去**

行政のカワウ担当者ができること

すぐに現場に行ける許可を出せる**体制**

被害者の**モチベーション**や意識を**上げる**

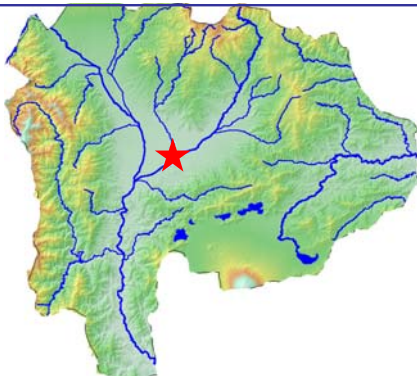
カワウ以前に、**漁民**、**漁業者に飽きられない**

愛護団体、河川管理者、漁協、研究者
巻き込んで(**協議会**立ち上げ)

感謝！



下曾根コロニー(県内最大の集団営巣地)



現場の様子



擬卵置き換えによる繁殖抑制

アユ竿 + 手鏡、粘着シート、タモ網



ウ卵を取り出して 擬卵と置き換える

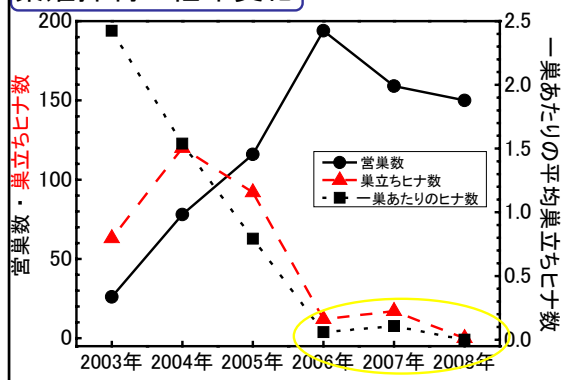
ドライアイスを用いた冷却処理による方法

ドライアイス単価7,500円/20kg



孵化しない(本物の)卵を抱卵させる

繁殖抑制の経年変化



被害抑制額

$$277羽 \times 386g \times 34.89\% \times 1.5ヶ月 = 1.7t$$

(孵化するはずだった雛数) (雛の1日の摂食量) (4.5月のアユ含有率) (孵化～巣立ち)

放流アユ単価 3500円 / kg → 588万円

